

## 今日のトピック RBAは今月も0.5%の利上げを実施 労働市場が一段とタイト化、さらなる利上げが見込まれる

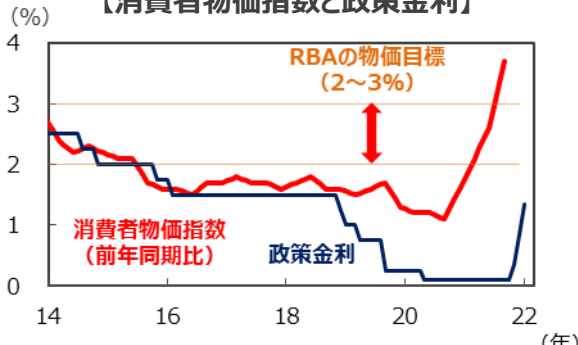
### ポイント1 市場予想通り、0.5%の利上げ

- 7月5日、豪州準備銀行（RBA）は金融政策決定会合で、政策金利である翌日物金利の目標を1.35%に引き上げました。利上げ幅は、6月に続き0.5%と大きいものとなりましたが、概ね市場予想の通りでした。
- RBAは、豪州経済は引き続き堅調であるとしながらも、家計が足元の物価上昇や金利上昇の影響を受けていることを、経済見通しの不確実性の一因として挙げています。

### ポイント2 強い需要や労働市場のひっ迫により、インフレは高水準だが・・・

- 声明文では、インフレの高まりについて、多くが世界的な要因によるものとしつつも、豪州国内における強い需要や、ひっ迫した労働市場、一部のセクターにおける生産能力の制約なども影響していると指摘しています。RBAは今後について、インフレは年内にピークを迎え、RBAの目標とする2～3%に向かって低下すると見えています。
- インフレの一因となっている労働市場については、失業率が歴史的な低水準にあることに加えて、求人や求人広告が高水準にあることから、今後数カ月はさらにひっ迫すると予想されています。また、こうしたタイトな労働市場においては、人材獲得競争を通して、今後は賃金も引き上げられるとの見方についても言及されています。

【消費者物価指数と政策金利】



(注) 消費者物価指数は2014年7-9月期～2022年1-3月期。変動の大きい項目を除外したトリム平均値。  
政策金利は2014年7月～2022年7月。  
(出所) Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

【豪ドル円レートと豪日金利差】



(注) データは2019年7月1日～2022年7月5日。  
豪日金利差は2年国債利回りの差。  
(出所) Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

### 今後の展開 金融政策正常化に向けて、今後もさらなる利上げが見込まれる

- 6月に続き、7月も0.5%の大幅な利上げとなったものの、概ね市場予想の通りだったことから、会合後の為替市場では豪ドル安・円高となりました。RBAは、金融政策正常化に向けて、今後数カ月の間にさらなる措置を取ると述べています。また、RBAは労働市場は一段とひっ迫するとの見方も示しており、今後政策金利は中立水準を超えてやや引き締めの水準にまで引き上げられると見られます。弊社では、年末にかけて3.10%付近まで利上げが行われると見込んでいます。

ここも  
チェック! 2022年7月 4日 業績の下方修正を織り込む米国株式市場  
2022年6月28日 2022年7月の注目イベント

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。